

平成23年5月31日

No. 11-073

株式会社 伊予銀行

## 地域密着型金融の取組み状況について

～「親切で頼りがいあるベストパートナーバンク」の実現を目指して～

伊予銀行（頭取 森田浩治）は、地域密着型金融の平成22年度（平成22年4月～23年3月）の取組み状況を取りまとめましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 地域密着型金融の推進に関する基本的な考え方

- (1) 当行では、企業理念を「潤いと活力ある地域の明日を創る〔存在意義〕」、「最適のサービスで信頼に応える〔経営姿勢〕」および「感謝の心でベストをつくす〔行動規範〕」と定め、この企業理念に基づく3か年の経営計画として「2009年度中期経営計画」（平成21年度～23年度）を推進しております。
- (2) お客さまとの長期的な取引関係を前提とする地域密着型金融<sup>(注)</sup>の考え方は、地域社会と共に発展しようとする当行の企業理念の考え方とその方向性を一にするものであり、当行は、企業理念の実践と、企業理念に基づく中期経営計画の着実な取組みを通じて、地域経済の活性化に努めてまいりたいと考えております。
- (3) 中期経営計画において、「高付加価値を生み出す営業基盤の確立」、「強靱で柔軟な経営管理態勢の構築」および「地域社会の持続的発展に向けた取組みの強化」の3つの基本方針を策定しておりますが、特に基本方針3番目の「地域社会の持続的発展に向けた取組みの強化」は、地域密着型金融の一層の推進を目指すものです。当行は、これら3つの基本方針に基づく諸施策を推進し、「親切で頼りがいあるベストパートナーバンク」の実現を目指してまいります。

(注)「地域密着型金融」とは、「金融機関が顧客との間で親密な関係を長く維持することにより顧客に関する情報を蓄積し、この情報を基に貸出金等の金融サービスの提供を行うことで展開するビジネスモデル」と一般的に定義されています。(平成15年3月27日；金融審議会「リレーションシップバンキングの機能強化に向けて」)

#### 2. 地域密着型金融に関する具体的な取組み ……(詳細は別紙をご参照ください)

##### (1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

産学官連携をはじめ地域のネットワークを活用した創業・新事業支援の取組み

- A. 「いよベンチャーファンド投資事業有限責任組合」により、ベンチャー企業をご支援する仕組みを整えております。(平成22年度中の実績はありませんが、これまでの累計は26件661百万円にのぼります。)

B. (財)えひめ産業振興財団が運営する「えひめ地域密着型ビジネス創出ファンド」の助成金制度にお取引先 9 社をご紹介いたしました(9 社全社が採択)ほか、同じく「えひめ中小企業応援ファンド」の助成金制度にお取引先 25 社をご紹介いたしました(うち 22 社が採択)

C. 愛媛県下の「チームえびす<sup>(注)</sup>」に参加する 15 の支援機関が連携し、平成 22 年 4 月より、国の「中小企業応援センター事業」に「支援機関」として参加し、66 社の経営相談を実施いたしました。

D. 産学官連携の事例として、地場製品の販路拡大を目指す「愛媛甘とろ豚」に関する取組みや、地元企業の「ものづくり」をお手伝いした取組みを実施いたしました。

(注)Ehime Business Support Network … 県内商工会議所のほか、大学、金融機関等で構成。

#### ビジネスマッチングによる販路拡大のご支援

国内外で各種の商談会を開催し、お客さまのビジネスチャンス拡大のお手伝いに努めました。

#### (2) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

##### 四国 4 行が連携・協調した観光産業活性化への取組み

四国の地方銀行 4 行(当行、阿波銀行、百十四銀行、四国銀行)が共同で、「ミュージアム 88 カードラリー in 四国」を継続開催いたしました。参加者は全体で約 37,500 名にのぼるなど大きな反響をいただいております、文化醸成・観光振興に貢献できたものと考えております。

以 上

# 地域密着型金融の取組み状況

(平成22年4月～23年3月)

チャレンジします。みなさまの笑顔のために。



私たちは、地域とお客さまあつての銀行です。  
みなさまへの「おかげさまで」という感謝の  
気持ちをすべての行動の原点に、みなさまの  
笑顔のためにチャレンジします。

頭取 森田浩治

負けて失敗したらその時に学べばいい、学ぶ  
チャンスがきただけ。同じ失敗はしないと思っ  
ただけでも成長なんです。次のステップに行き  
たいから、勝っても負けても私にはエネルギー。

クルム伊達公子



感謝の心をこめて

## Challenge & Smile

 伊予銀行

## 感謝の心をこめて Challenge & Smile

伊予銀行は、当行テニス部と親交のあるプロテニスプレイヤーのクルム伊達公子さんをイメージキャラクターに起用しております。

笑顔で世界にチャレンジする伊達さんのように、私たちも地域やお客さまへの感謝の気持ちを基本に、地域の皆さまの「笑顔」のために、積極的にチャレンジしてまいります。

平成23年5月  
株式会社 伊予銀行

# I. 地域密着型金融の推進に関する基本的な考え方

## 当行の企業理念

- 〔存在意義〕 潤いと活力ある地域の明日を創る
- 〔経営姿勢〕 最適のサービスで信頼に応える
- 〔行動規範〕 感謝の心でベストをつくす

## 「2009年度中期経営計画」 “Customer First” Plan for Future (平成21年4月～24年3月)

- 〔目指す銀行像〕
- 〔3つの基本方針〕

### 「親切で頼りがいあるベストパートナーバンク」

- ①「高付加価値を生み出す営業基盤の確立」
- ②「強靱で柔軟な経営管理態勢の構築」
- ③「**地域社会の持続的発展に向けた取組みの強化**」

## **「地域密着型金融」(注)を推進するための基本方針を中期経営計画に策定**

### <地域密着型金融>

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(注)「地域密着型金融」・・・金融機関が顧客との間で親密な関係を長く維持することにより顧客に関する情報を蓄積し、この情報を基に貸出金等の金融サービスの提供を行うことで展開するビジネスモデル  
(平成15年3月27日;金融審議会「リレーションシップバンキングの機能強化に向けて」から抜粋)

## Ⅱ. 地域密着型金融に関する具体的な取組み

地域密着型金融に関する当行の取組みのうち、主なものは以下のとおりとなります。  
今回は、このうち下線部分の具体的な取組内容について公表しております。

### 1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

- 創業・新事業のご支援 … 産学官連携をはじめ地域のネットワークを活用した創業・新事業支援の取組み
- 経営改善のご支援 … ビジネスマッチングによる販路拡大のご支援
- 事業再生のご支援 … 多様な再生スキームを活用した事業再生への取組み
- 事業承継のご支援 … M&Aを活用した事業承継のご支援

### 2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

- 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み
- 企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み  
… 「目利き機能」向上のための人材育成の取組み

### 3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

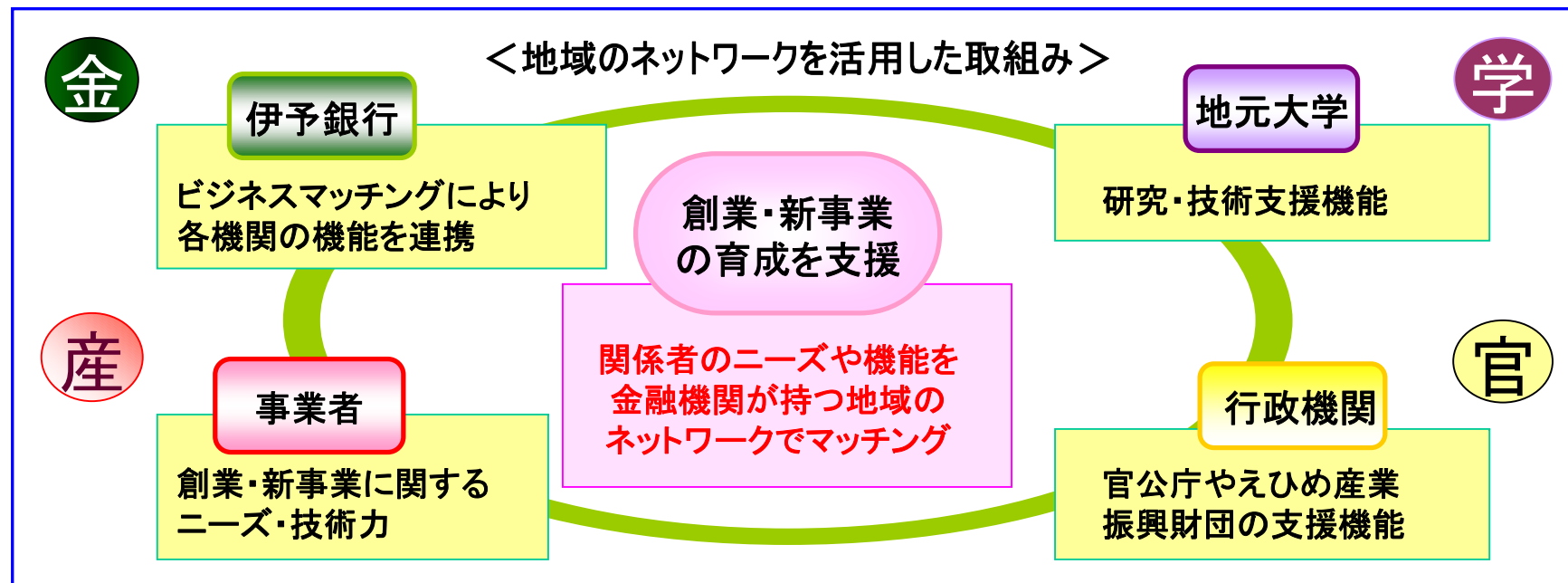
- 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み  
… 四国4行が連携・協調した観光産業活性化への取組み
- 地域活性化につながる多様なサービスの提供 … 地域のお客さまの金融知識向上に向けた取組み

## Ⅱ－1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

### ～ 産学官連携をはじめ地域のネットワークを活用した創業・新事業支援の取組み～

- ◆ 「いよベンチャーファンド投資事業有限責任組合」により、ベンチャー企業をご支援する態勢を整備  
(22年度の投資実績はないがこれまで26件661百万円の投資を実施)
- ◆ (財)えひめ産業振興財団が運営する「えひめ地域密着型ビジネス創出ファンド」の助成金制度にお取引先9社を紹介(9社採択)、  
「えひめ中小企業応援ファンド」の助成金制度にお取引先25社を紹介(22社採択)
- ◆ 愛媛県下の「チームえびす<sup>(注)</sup>」に参加する15の支援拠点が連携し、平成22年4月より、国の「中小企業応援センター事業」に「支援機関」として参加し、66社の経営相談を実施

(注) Ehime Business Support Network … 愛媛県内商工会議所のほか、大学、金融機関等で構成(当行も参加)



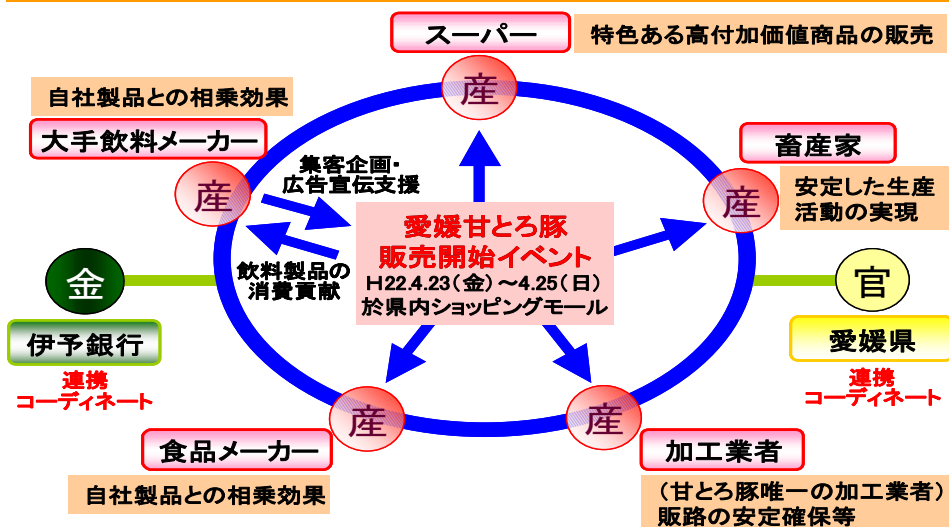
# 地域のネットワークを活用した具体的事例 ～ 愛媛甘とろ豚 ～

- 「産官金」が一体となって、地域産品の認知度向上や消費拡大を目指した取り組み
- 民間産業界のニーズと行政官庁の機能を結びつける連携活動を通じて、**地場産品の消費拡大**を目指す

## 地域産品のマッチング活動

- ◆ 大手飲料メーカーの販売促進ノウハウを活用し、愛媛県が開発した「愛媛甘とろ豚」の認知度向上のため、地元産業界と連携して販売開始イベントを開催(22年4月)
- ◆ 愛媛県、松山市、首都圏飲食チェーン店と連携し、愛媛県産品を使った「愛媛フェア」を14店舗で開催(22年6月～7月)

## ～愛媛甘とろ豚の認知度向上に向けた連携イメージ～



- 当行が持つネットワークを活用し、技術力を持った地元中小企業の「ものづくり」をサポート

## ◆「ものづくり」支援に向けた連携

- 平成22年7月、当行、横浜銀行、広島銀行、山陰合同銀行と財団法人日本宇宙フォーラム(JSF)<sup>(注)</sup>とで、中小企業の「ものづくり」支援体制の強化を目的に、「包括的連携協力協定」を締結

## ◆「ものづくり」関連セミナーを開催

- 平成23年1月、松山市にて、JSF、独立行政法人 物質・材料研究機構(NIMS)が行う企業との連携活動を紹介する「ものづくり関連技術に関するセミナー & 個別商談会」を開催(お取引先75社がご参加、8社で個別相談継続中)
- 平成23年1月、愛媛県新居浜市にて、「大阪ガス/オープンイノベーションセミナー & 個別商談会」を開催(お取引先31社がご参加し、11件の商談あり)

(注)JSFは、独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)が保有する技術の民間移転等を行っている団体

「ものづくり関連技術に関するセミナー & 個別商談会」



「大阪ガス/オープンイノベーションセミナー & 個別商談会」



### ～ ビジネスマッチングによる販路拡大のご支援 ～

- ◆国内で以下の商談会を開催
  - 平成22年9月、松山市にて、「いよぎんこだわり食の商談会2010」を開催(お取引先21社がご参加、296件の商談が成約)
  - 平成22年11月、東京にて、地方銀行32行で「地方銀行フードセレクション2010」を開催(お取引先22社がご参加、18件の商談が成約)
  - 平成22年11月、大阪にて、地方銀行3行で「第1回ネットワーク商談会IN大阪」を開催(お取引先12社がご参加、1件の商談が成約)
- ◆海外で以下の商談会等を開催
  - 平成22年6月、中国深圳にて、地方銀行17行で「香港・華南地区日系企業ビジネス交流会」を開催(お取引先5社がご参加)
  - 平成22年9月、中国上海にて、地方銀行26行と6つの地方公共団体団体で「日中ものづくり商談会in上海@2010」を開催(お取引先14社がご参加、4件の商談が成約)
  - 平成22年10月、「第16回いよぎん広州交易会商談ミッション」を組成(お取引先9社が中国最大の商談会にご参加、2件の商談が成約)
  - 平成22年11月、中国大連にて、地方銀行9行で「大連－地方銀行合同ビジネス商談会」を開催(お取引先7社がご参加、2件の商談が成約)
- ◆行内LANにビジネスマッチング情報823件を登録し、371件が成約(平成23年3月末の掲載情報数は425件)

いよぎんこだわり食の商談会2010



第16回いよぎん広州交易会商談ミッションで参加した商談会

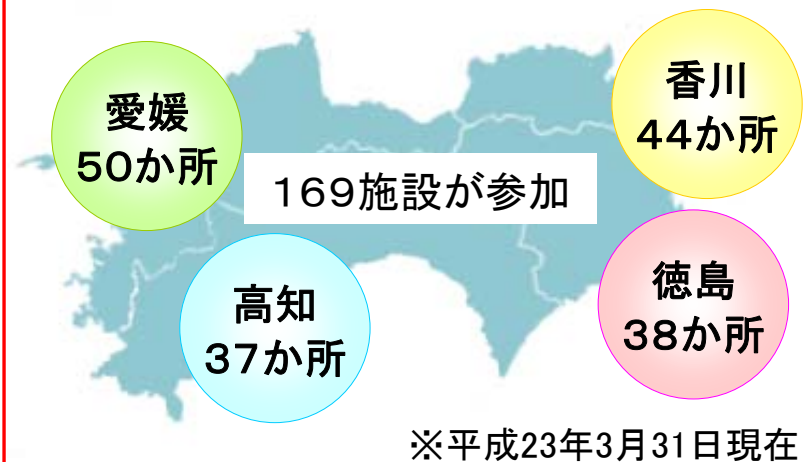
## Ⅱ－3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

### ～ 四国4行が連携・協調した観光産業活性化への取組み ～

四国は、「四国霊場88か所」に代表される歴史や伝統に育まれた文化が息づく地域で、美術館や歴史博物館、郷土資料館のような多数のミュージアムを有し、これら観光資源を有効に活用することで、観光客増加による地域活性化を期待

平成23年3月末の参加者は、全体で約37,500名にのぼり、  
各県のマスター賞受賞者が828名（徳島167名、香川205名、愛媛285名、高知171名）、四国マスター賞受賞者も134名と、  
大きな反響を呼んでおり、文化醸成・観光振興に貢献

### ～ミュージアム88カードラリーin四国～



- 文化醸成
- 観光振興

四国の  
活性化を応援

### <ミュージアム88カードラリーin四国の概要>

- 四国の地銀4行（伊予銀行、阿波銀行、百十四銀行、四国銀行）が共同で実施
- 実施時期；平成19年10月1日～平成23年9月30日（継続予定）
- 各行の窓口や専用ホームページ等で参加申込み（参加料無料）
- 参加者は、参加証を携行して対象施設を利用し、カードを収集
- 一定量カードを集められた参加者に「県マスター賞」、「四国マスター賞」を進呈